

日置族の歴史

長門市日置(日置族)について

長門市日置中学校1年
ふるさと学習「日置の秘密発見」



令和元年9月24日

(株)グリーンデザインオフィス

代表取締役 岩田真次

一級建築士・構造設計一級建築士

自己紹介

環境に優しい循環型の
住まい・まちづくりを支援します。

会社概要

登録
本社

一級建築士事務所 山口県知事登録(D)第2321号
(西京事務所) 代表取締役 岩田真次
〒755-0084 山口県宇部市大字川上420-9
TEL:0836-32-8202 FAX:0836-32-8238
URL:<http://www.green-d-office.com/>
Email:iwata218@mocha.ocn.ne.jp
(東京事務所) 千葉県長生郡白子町(九十九里が浜)
TEL: 090-1460-3091

従業員

7名、技術顧問1名
内、一級建築士2名(構造設計1名)、博士(工学)2名
CASBEE建築評価員1名、CAD利用技術者一級(建築)1名
非破壊試験技能者3名、Strec建築構造調査士3名



(株)グリーンデザインオフィス



耐震診断・改修設計
RC造(屋根S造)体育館
(宇部市 俵田翁記念体育館)



構造設計・応答解析
S造高層ビル
(岩国市 瀬祭本社)



耐震診断・改修設計
木造大規模校舎
(萩市 明倫学舎)

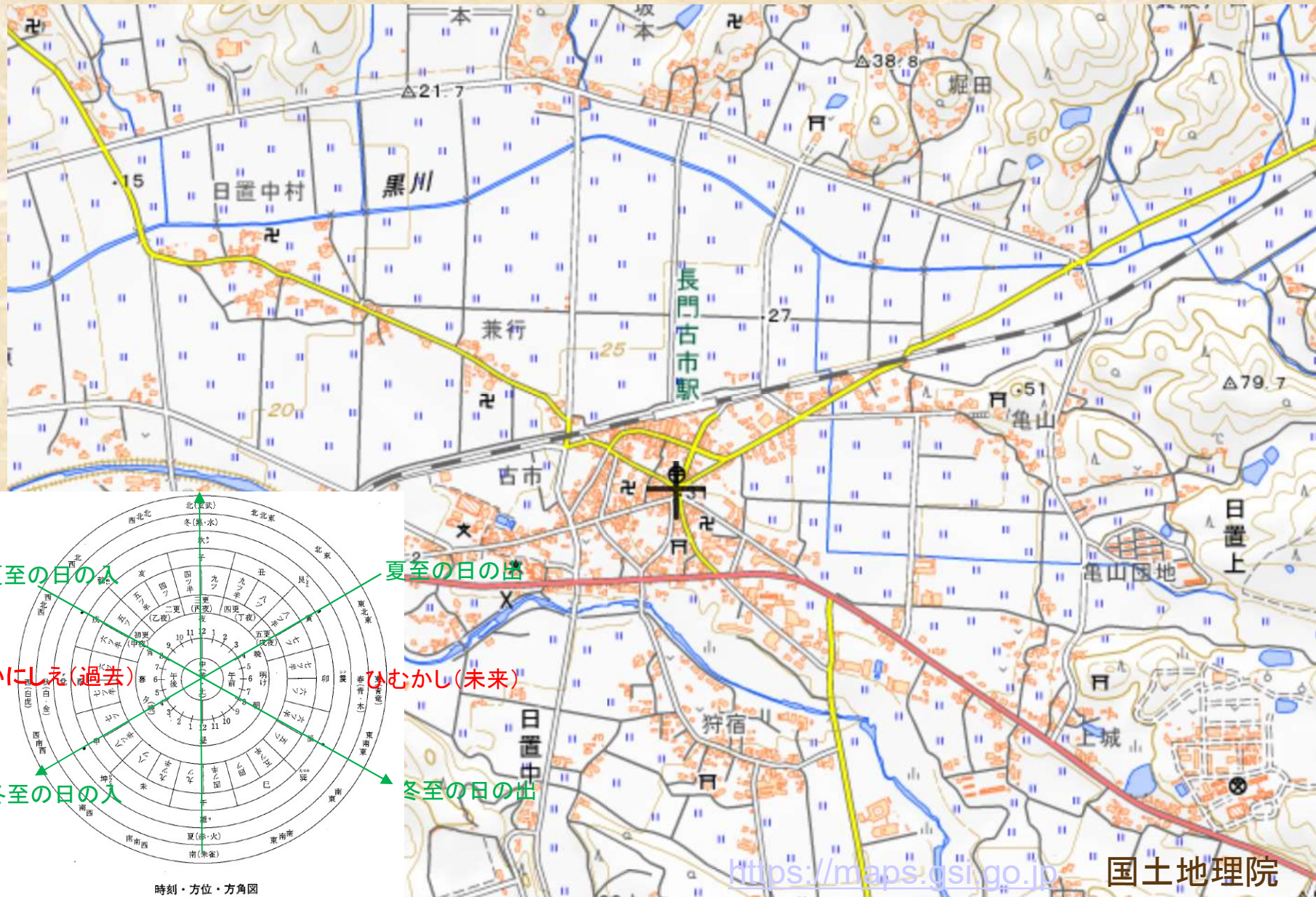
長門市日置郷

総面積18km²の県内北浦沿岸最大の平野(西のまほろば)



日置は暦(こよみ)の郷

長門古市は日置から向津具までの平野全体の商業流通の中心であった。(日置町史)



日本人はどこから来たのか？

文芸春秋刊

- ・ およそ20万年前東アフリカにホモ・サピエンスが出現し、7万年前頃に言語をもつと集団で行動し、3万8千年前頃、古本州へ朝鮮半島、対馬ルートで海を越えてやってきたのが、最初の日本列島人。その後の縄文人へと連続していった。
- ・ 縄文人社会に、弥生渡来民が現れ、平野部に水田を開発して列島内で人口を増やし、列島内拡散とともに縄文人との大規模な混血が進んでいった。

海部陽介 国立科学博物館人類史研究グループ長



図6-4 3万5000年前頃の円形キャンプの想像復元図。直径30メートルの環状ブロック群が見つかった長野県の日向林B遺跡の様子。テントの数やキャンプにいた人数などは推定。人々が様々な活動をする中、向かって右手では、この遺跡から大量に発見された刃部磨製石斧をつかって木の伐採・加工が行われている。国立科学博物館常設展より。画：山本耀也、監修：堤隆



※日本人のDNAは日本人固有4%、朝鮮24%、中国25%、ほか。

古代の日置族①...弥生人・ルーツは高句麗

- 日置族のルーツは大陸、高句麗族(日置町史)。

- 山口県下関市土井ヶ浜遺跡(弥生人墓地・鵜を抱く女)と鳥取県青谷町青谷遺跡(弥生人墓地・脳のある頭骨発掘)。

居住地はいずれも紀元前200年代(秦の時代)のもので、この頃大陸から上陸したものと考えられる。近くに日置族の居住地が存在する。

- 山陰側への渡来人の本拠地が出雲か。



※1 一、二、三(ヒーフーミー)は高句麗語(司馬遼太郎)

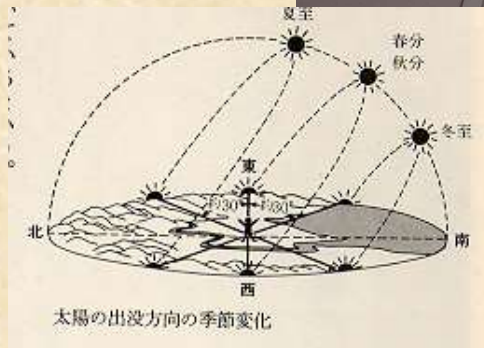
※2 大学の恩師(私の就職先を決定された鉄筋コンクリート工学博士)は加賀美一二三先生

古代の日置族②...土井ヶ浜遺跡の謎

鵜を抱く女



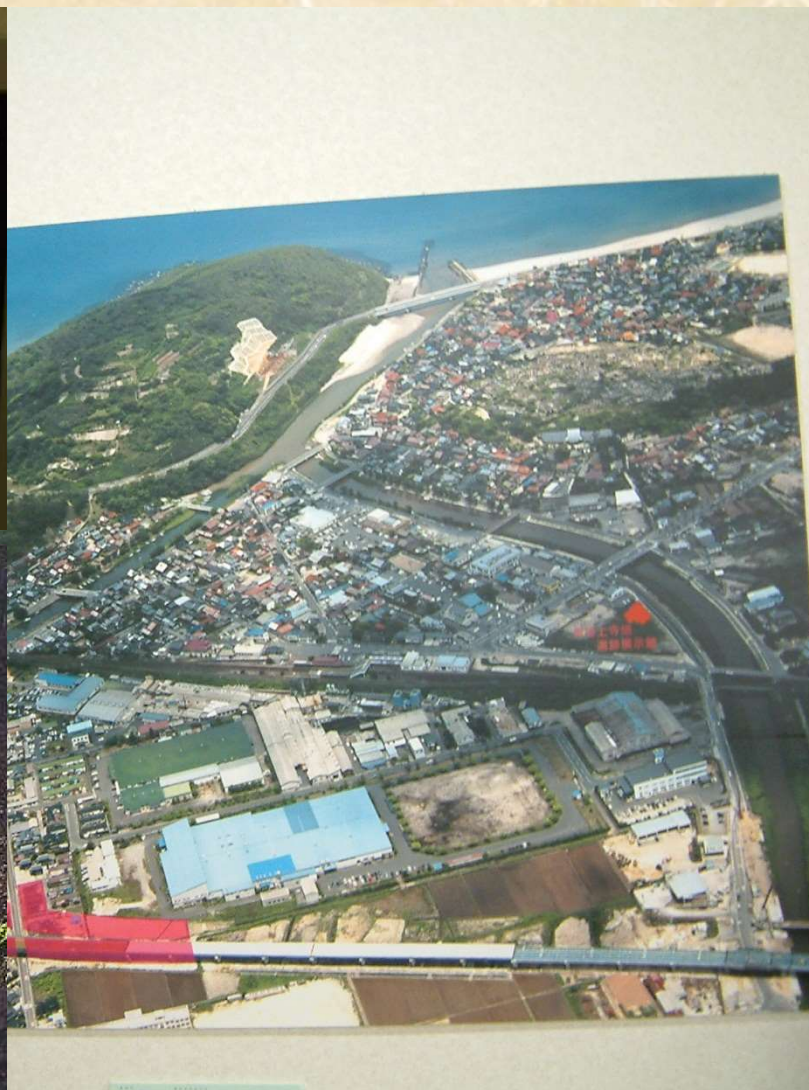
中原中也記念館長・福田百合子さん小説の題材



弥生人といわれる人骨はほぼ同一の方向に安置されている...顔を故郷の大陸に向けているといわれるが古代人の神聖なる方位である東南東(冬至の日の出)、東北東(夏至の日の出)方向に頭を向けて安置されていると考えては...



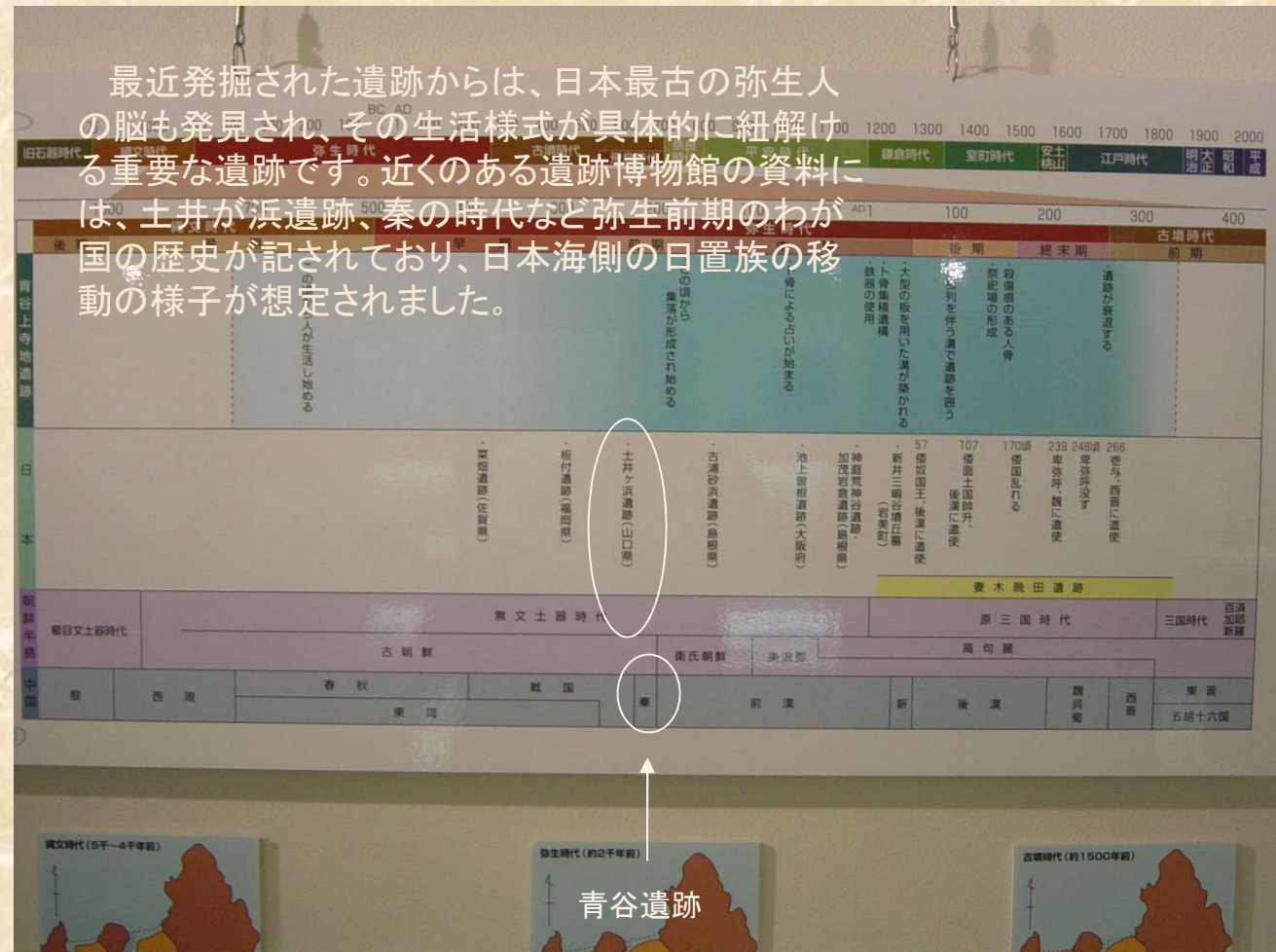
2. 古代の日置族③...青谷遺跡の謎



鳥取県青谷は因幡と伯耆の国境にあり、近くに三朝温泉・三徳山の投入堂がある。因幡の白兔の神話を思い浮かべると・・・。

2. 古代の日置族④

…青谷遺跡と土井ヶ浜遺跡は同時期に成立



土井ヶ浜と青谷上寺地遺跡は同類の弥生人が居住



日置族とは

● 古事記 (712年に成立したわが国最古の歴史書・文学書、天武天皇が稗田阿礼に命じて覚えさせ、元明天皇が太安万侶に書きとめさせたもの)

- ・ 応神天皇「(皇子) 大山守命は山海の政(海部・山部・山守部などの部民を掌る^(つかさどる) 仕事)をせよ」
- ・ 大山守命は土形君、幣岐(日置)君、榛原君等の祖

● 日本書紀 (720年に完成したわが国最古の正史)

- ・ 素戔鳴尊の子天穗日命是出雲臣・土師連等の祖
- ・ 土師氏土師宿禰は菅原、大枝(大江)、秋篠と称す

● 日置町史(新撰姓氏録)

『新撰姓氏録』(しんせんしょうじろく)は、平安時代初期の815年(弘仁6年)に、嵯峨天皇の命により編纂された古代氏族名鑑。

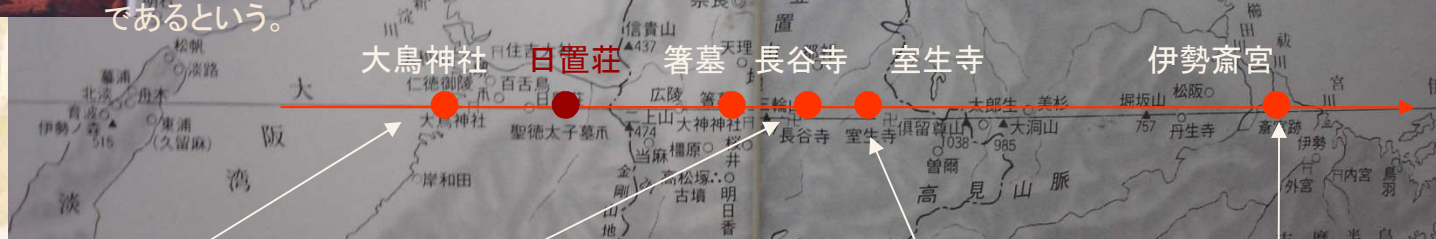
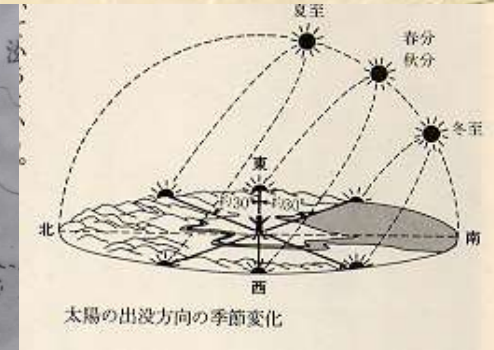
- ・ 日置朝臣 応神天皇皇子 大山守王 之後也 (天皇家から分かれた氏族)
- ・ 日置造 出自高麗国人 伊利須意弥也 (渡来人系の氏族)
- ・ 日置部 天櫛玉命 男天櫛耳命 之後也 (物部氏、海部氏、尾張氏等の祖神)

古代の日置族⑤

…日置族は古代の技術集団



元NHKプロデューサー水谷慶一氏は、大阪・大鳥神社から伊勢斎宮を結ぶ東西軸線上(太陽の道)に古墳、社寺などの遺跡が並んでおり、この精密な測量を行ったのが古代の技術集団日置族であるという。



水谷慶一氏 アポなしで訪問...暖かく迎えて頂きました

日置族は、大和政権のあらたな支配地へ最初に送りこまれる尖兵(防人)、しかし、権力の表面には決して立つことのない「蔭の技術集団」であった。

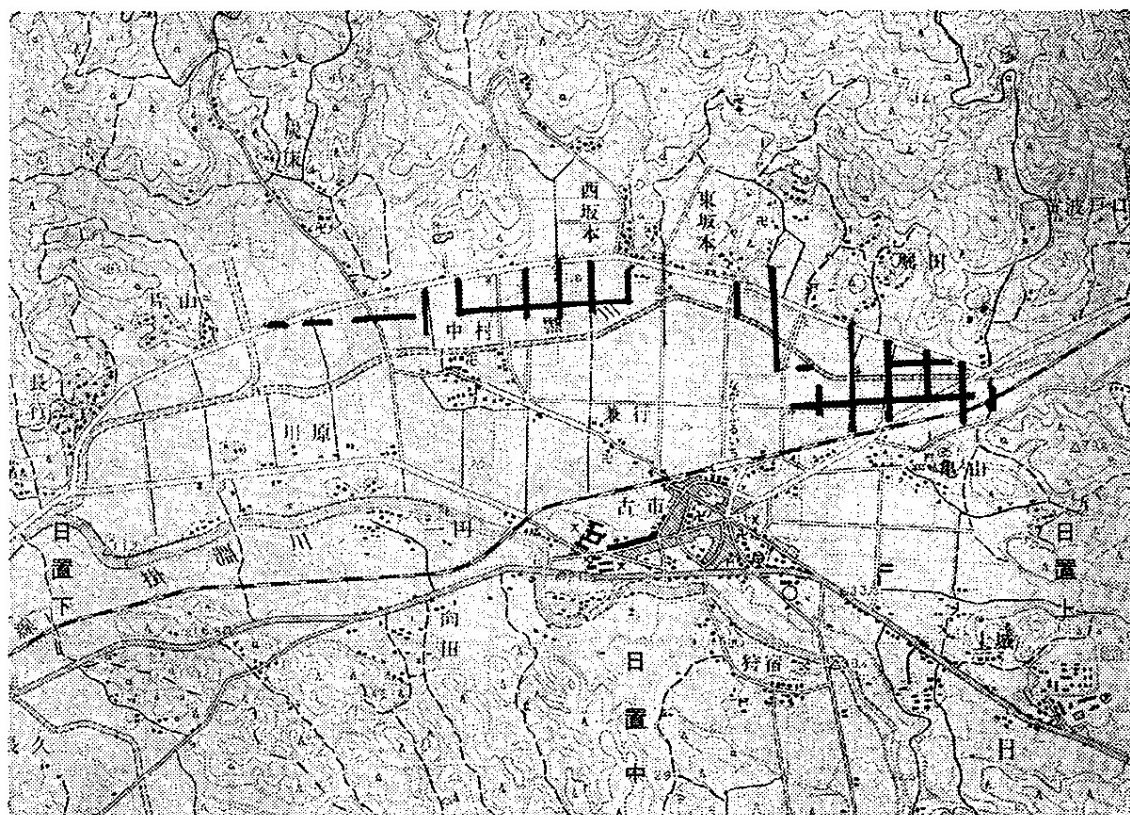


2014.5. 22 岐阜県郡上市白鳥町 越美文化研究所

- 弥生時代～古墳時代(4～6世紀)...**堀田遺跡**(竪穴住居、*土師器・須恵器)
- 奈良・平安時代(律令時代)...**条里制遺構、古代製鉄炉**(ふいご口、鉾澤)

大和朝廷は、戸籍を整備し田地(口分田)を支給、耕作させ、*日置中学校社会クラブ確認(昭和45年)
租稲を納めさせた。田地支給のための耕地の地割の仕方が条里制

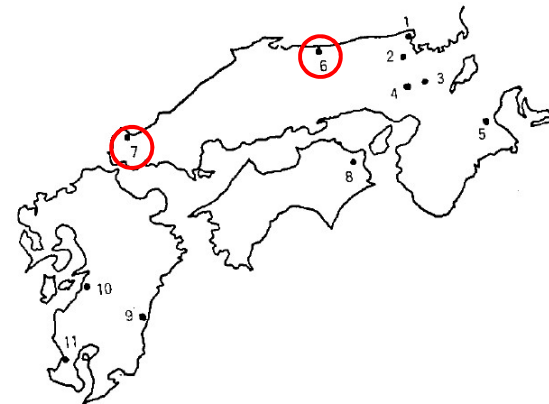
第二章 古代の日置



第22図 日置の条里制遺構 (作図 三浦肇)

➡先住の弥生人が水稲、漁労で営んでいた地域(長門市日置)に、大和朝廷から派遣された日置氏が、地域住民と融合して、自然豊かな田園景観を創り上げた。

第二編 原始・古代の日置



第21図 地名「日置」の分布

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 京都府宮津市 | 7 <u>山口県日置町</u> |
| 2 " 夜久野町 | 8 徳島県上板町 |
| 3 " 八木町 | 9 宮崎県新富町 |
| 4 兵庫県城東町 | 10 熊本県八代市 |
| 5 三重県一志町 | 11 鹿児島県日置町 |
| 6 <u>鳥取県青谷町</u> | |

日置町史

中世の日置族①



長門市・日置八幡宮



青谷城主・日置氏の墓

鎌倉の政変が長門に及んだ！

山口県日置町にある日置八幡宮の宮司・**日置筑後守**は、**源実朝**暗殺の嫌疑によりお家断絶となった。

守護佐々木氏以前の有力領主であった日置氏が鎌倉幕府御家人であったか否か明らかでないが、幕府内部の抗争に加担したとすれば、日置屈指の有力者として御家人化していた可能性があり、守護佐々木氏の影響下にあったとみることができる。のち守護佐々木広綱が実朝暗殺の二年後、**承久の乱**に朝廷方に属して戦い没落したが、これも北条氏をめぐる対立抗争と無縁ではない。

（日置町史）

※佐々木**広綱**の妻は大江**広元**の娘といわれている。

この頃、鳥取県青谷町の**日置城主・日置氏**もお家断絶となったのではないか。

（青谷町住民聴取り＋推測）

中世の日置族②

長門の地域づくりは大内(鷲頭)氏が設計



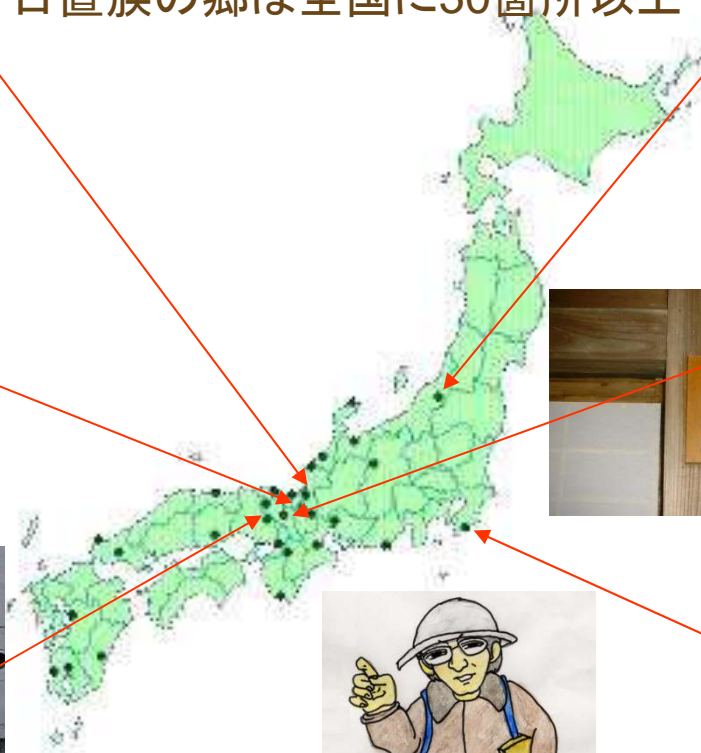
日置町盆地の中心に水の神である貴布祢神社の御旅所があり、鷲の石像が建っています。この石像の頭の方角は東南東30度、つまり冬至の日の出方向で、この方向に日置八幡宮があり、さらにこの軸線の延長上の長門市には長門深川廃寺と深川城があります。室町時代の長門守護代鷲頭弘忠は、この地域の居城、神社仏閣の建立地を定めるために、この東南東30度の軸線を基準にしたのではないかと推察されます。

大内氏→毛利氏

鎌倉幕府政所別当大江広元の
四男・毛利季光を祖とする一族

現代の 日置族①

日置族の郷は全国に30箇所以上

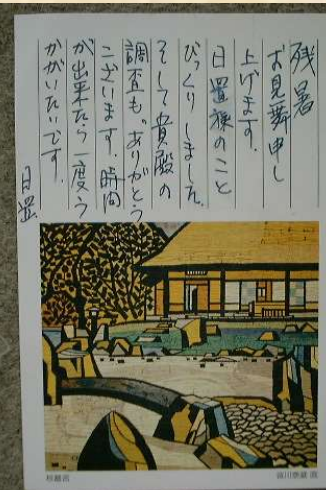


現代の日置族②

丸に十の字は何を意味するか！・・・太陽
南条踊りの態様・・・暦(こよみ)では？



築三百年以上の武家屋敷、
現在は一日数組限定の懐石料理屋



へき亭

女将さんは旗本日置(へき)
家の子孫

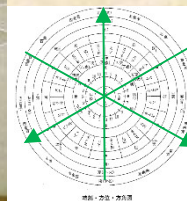
へき亭では「明智光秀公」
が食べたであろうと言われ
ている料理を再現、田舎代
官の家の食事を組み合わせ
、新しい献立にしました。
「麒麟がくる」(2020年
NHK大河ドラマ)



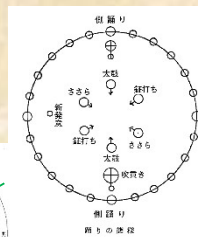
丸に十文字・・・島津藩の宿泊所、皇女和宮所
縁の品々



大寧寺本堂に掲げられた絵図



大寧寺



南条踊・・・毛利・吉川藩から伝授

現代の 日置族③

地域固有の景観形成



鎌倉・段葛



滋賀・鎮守



天津小湊・入り江



湊・漁港



引野・堤防



佐原市・水郷



引谷・田圃



宮津・海岸

現代の日置族④

地域文化を支える企業家



長野・上田市 日置電機会長・**日置勇二氏** 2005. 6本社訪問



日置電機本社を囲む森



大事なのは、いかに本物の師や仲間と
つながっていくか、ということ

Innovator File No.27

植物生態学者

宮脇昭氏

Miyawaki Akira

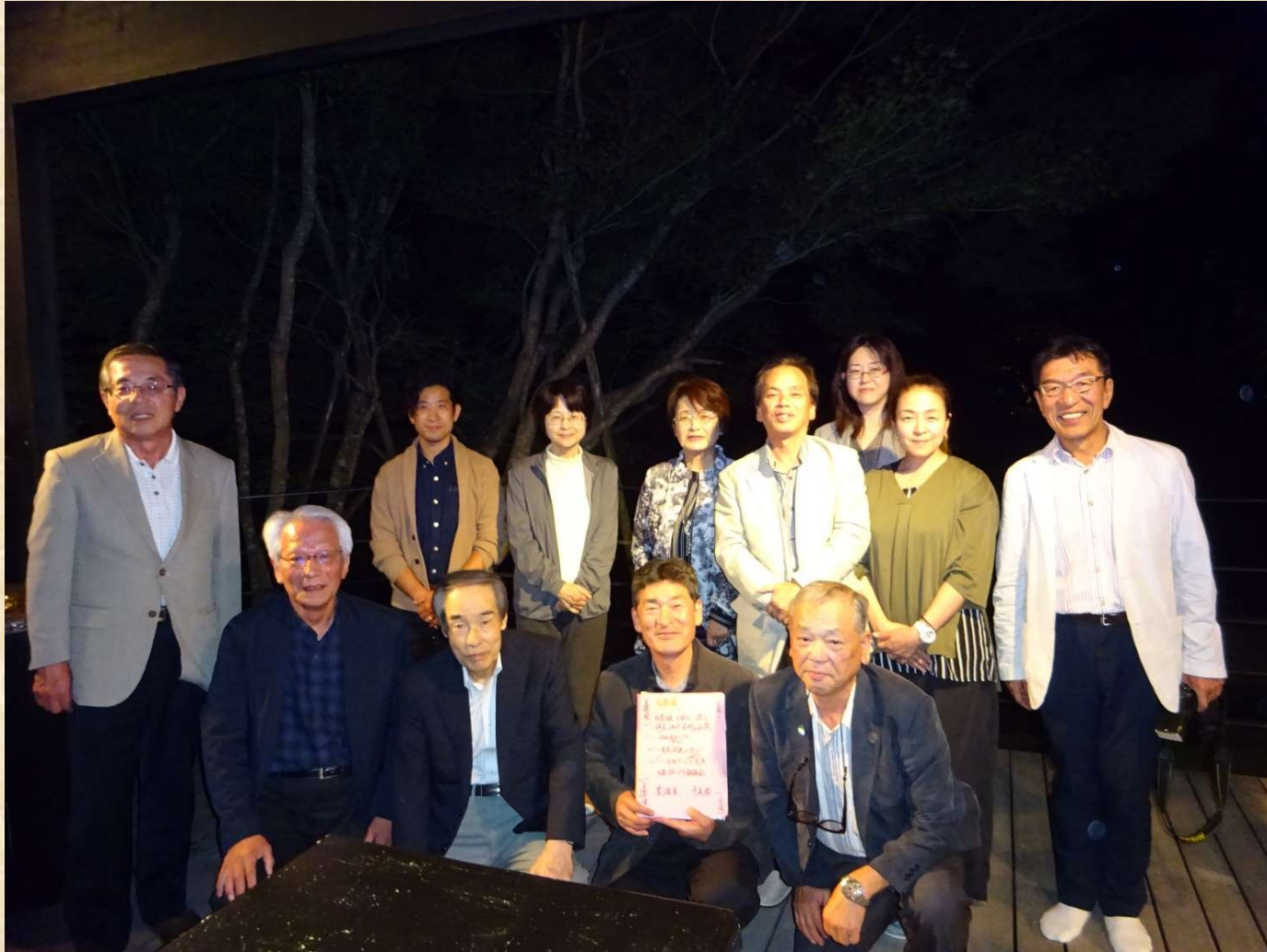
インタビュー：株式会社日本LCA 知識開発室 高田晋治、高橋規

企業や官公庁、地方自治体の緑化運動と連携し、国内1200ヵ所以上、海外も含めて
1500ヵ所以上で植林活動を行い、約3000万本の木を植えてきたのが、植物生態学者の**宮脇昭氏**



上田を守る真田城

日置勇二御夫妻 山口県長門市日置来訪(13年後)



2018.10.13 日置勇二御夫妻と地元・日置まちづくり協議会の皆さんと懇談

日置 航(日大三高・主将・遊撃手)は日置族の子孫

「第12回BFA U-18アジア選手権」日本代表メンバーに選抜された・・・日置航は日置勇二氏の甥子
現在、明治大学1年生



日置航は長野県上田市出身

地元の長野県上田市に本社がある、東証1部上場で創業80年を超える日置電機は、親族が創立した企業。祖父は社長も務めた。小中学生時代、所属していた上田南リトル・シニアでは、ナイター照明設備を完備した同社のグラウンドや、2つの室内練習場などを使用し、恵まれた環境で腕を磨いた。



飛鳥寺(奈良)銅造釈迦如来坐像
日本最古の仏像・重要文化財

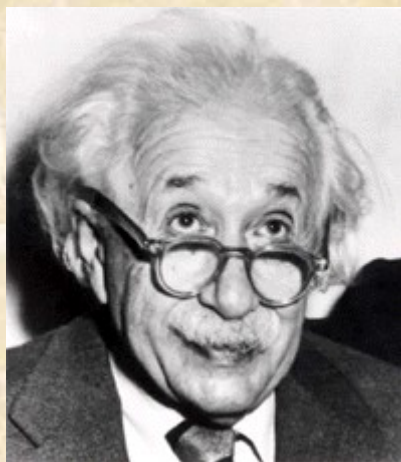
古代朝鮮語

ナラ: 国家

テラ: 役所

サン: 山(もののけ姫)

地域を時空で考える①



Albert Einstein

場所(地域)は、歴史(時間)と風土(空間)で定義される。

一般相対性理論においては理論的な帰結・骨子であり、次のように表される:

$$R_{ik} - \frac{g_{ik}R}{2} + \Lambda g_{ik} = 8\pi \frac{G}{c^4} T_{ik}$$

左辺は、**時空**がどういう風に曲がっているかを表す幾何学量であり、右辺は、物質**場**を表す。

空間と運動からなる四次元空間は、たとえていえば球面の上のような曲がった空間で、その曲がり方が重力を表している。**GPS位置情報システム**は、**相対論的補正**が行われて成立

$E = mc^2$... エネルギー方程式(自然の力を表す式、世界で最も美しい方程式)

この原理を応用して、非破壊試験による**建築材料の特性**、**建造物の耐震性**を推定



司馬遼太郎



司馬遼太郎の視点・・・辺境史観

地方の文化が育った江戸期、大正期を考えて;

地方の大学、短大はもっと力を持つべきだしそれを育てるために**地方の県人がもっと意識を高めるべきだ。そうでないと日本という国は薄っぺらい国になります。非常に多様な文化の価値観と文化とがあって社会というのはきらびやかなものになり、あるいはそこから生み出される文化もきらびやかなものになっていく・・・。**

藻谷浩介「デフレの正体」全国3200市町村、海外59か国訪問
多様な個性のコンパクトシティたちと美しい田園が織りなす日本、
そうした未来の実現に向けて自分の地域を良くして行こうと活動する老若男女はどんどん増えていく・・・」

日本というのは常に、現場で汗をかいている普通の人たちが支え、何度でも蘇らせてきた社会です。その現場力、雑草力が日本を救う。

地域を時空で考える②

時空で考える山口県の地図

山口県の歴史と風土を歴史地理学的に紐解くと「時空の繋がり」=「地域の有り様」が見えてきます。



長門市日置を時空で考える



豊前坊...英彦山信仰

牛馬安全と雨乞を祈願

英彦山には修験と信仰の拠点であった「英彦山神宮」があり、**ご祭神**は「正勝吾勝勝速日**天忍穗耳命**（まさかつあかつかちはやひあめのおしほみのみこと）。スサノオがアマテラスの勾玉から生みだした五柱の神様のひとり。この天忍穗耳命がアマテラスの息子であることから、「アマテラス＝日（太陽）」の「子」で「日子（ひこ）山」と呼ばれ、それが彦山、英彦山となったという。

・日置部 **天櫛玉命**男**天櫛耳命**之後也（日置町史）

先代旧事本紀では、「天照國照彦天火明櫛玉饒速日尊」といい**天忍穗耳尊**の子で瓊瓊杵尊の兄である**天火明命**（アメノホアカリ）と同一の神であるとしている。また**物部氏、穗積氏、尾張氏、海部氏、熊野国造**らの祖神と伝える。大和地方に神武天皇の前に出雲系の王権が存在したことを示すとする説・・・。

天櫛玉命 を祀る神社

日置神社 長野県長野市信州新町日原西字宮脇2306

日置神社 兵庫県豊岡市日高町日置字高谷14



天櫛玉命

「彦山豊前坊」という大天狗

猿田彦の伝承と修験道が結びついて彦山豊前坊という大天狗が産まれたか

天狗と問答をした小早川隆景（毛利元就の三男で、兄弟に同母兄の毛利隆元・吉川元春・・・山を護る土地神である大天狗が天下のためという理由で木を伐り出すことを納得するという、まさに戦国時代が終わりを告げ、天下が統一されたことを象徴する話か・・・。）

30度と10ⁿ

地域を時空で考える③

人と自然に共有する限界指数は30度

- ①野球の打率…天才バッター・イチロウでも打率は3割台
- ②政党支持率…自民党の平均支持率は3割程度
- ③自然のり面…擁壁のいない崖の勾配は30度以下
- ④土の安息角…土の内部摩擦角は約30度
- ⑤木材の含水率…含水率が30%を超えると強度低下、腐食はじまる
- ⑥木造民家の固有周期…固有周期が0.30sec、振幅H/vが30を超えると耐震性が不安
- ⑦街並みのD/H…建物の高さHと前面道路幅Dの比H/Dが0.3以下は駄々広く感じる
- ⑧人の視野…一度に見える視野の角度は30度
- ⑨陸地の割合…地球の陸地は30% (海は70%)
- ⑩世界の四大文明…北緯30度台
- ⑪目の錯覚角度…30度
- ⑫冬の南面の日射量限界角度…30度
- ⑬体温…30度台
- ⑭体の固体部分…30%
- ⑮戸建住宅のプレハブ住宅化率…30%

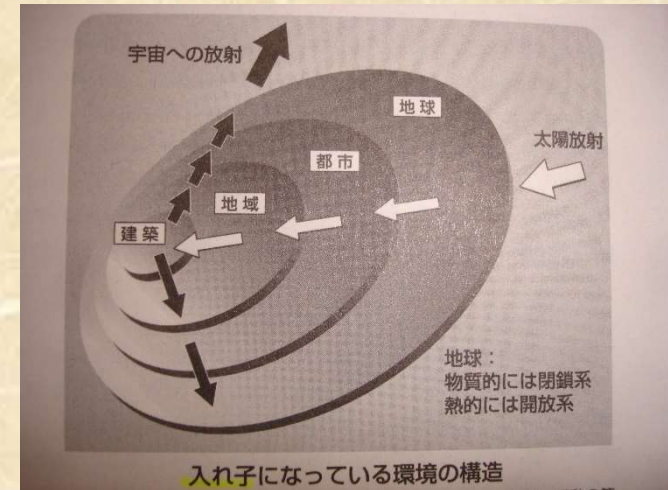


30度と 10^n

地域を時空で考える④

環境は入れ子・・・ 10^n (フラクタル)

- ①河川の支流(水)
- ②木の枝(木)
- ③土砂の粒子数の分布(土)
- ④貨幣の単位
- ⑤自宅、近隣、部落・団地、区、町、
地域、市、県、の人口と面積



建築家・小玉祐一郎



パッシブソーラーハウスの第一人者

実家は秋田県最大の
醤油・酒造業を営む

2019. 5. 31 筑波
小玉邸(パッシブソーラーハウス)

今後人類が直面する課題

- ①大規模な戦争
- ②地球温暖化
- ③AIなどの破壊的な技術革新

不確実なこれから時代こそ、歴史と風土を学び、自然の摂理、人の営みの有り様を認知することが益々重要になる。(文系・理系の垣根の除去)



三つの重要な革命

私たち現生人類につながる**ホモ・サピエンス**は、**20万年前、東アフリカに出現**した。その頃にはすでに他の人類種もいたのだが、なぜか私たちの祖先だけが生き延びて食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いた。40歳のイスラエル人歴史学者、ユ瓦尔・ノア・ハラリの『**サピエンス全史**』は、この謎を三つの重要な革命——**認知革命・農業革命・科学革命**——を軸に解き明かす。

たとえば、**サピエンス躍進の起点となった認知革命**はおよそ**7万年前に起きた**。原因は遺伝子の突然変異らしいが、**サピエンスは柔軟な言語をもって集団で行動できるようになり**、先行する他の人類種や獰猛な動物たちを追い払った。この認知革命によって獲得した**〈虚構、すなわち架空の事物について語る〉能力は神話を生み、大勢で協力することを可能にした**。後に**国家、法律、貨幣、宗教といった〈想像上の秩序〉が成立するのもここに起因**している。

文理を問わないハラリの博学には驚くばかりだが、レトリックの利いた平易な文章も魅力のひとつだ。そんな彼の知見と表現力に導かれ、私たちは三つの革命や壮大な文明史を再認識するだけでなく、**人工知能や遺伝子操作の進歩によって現れるかもしれない〈超ホモ・サピエンスの時代〉**についても考えることになる。**私たちが生みだした、私たちにそっくりのサピエンスがこの世界を支配する時代の到来.....**ハラリは最後にこう書いている。

〈私たちが直面している真の疑問は、「私たちは何になりたいのか?」ではなく、「**私たちは何を望みたいのか?**」かもしれない〉

地域を時空で考える まとめ

地域を考える視点(ものさし)・・・日置族から学んだこと

1. 日置族は現代まで通用する地域固有の文化を残した。
2. 公と私、自然と人との接点に重要なシンボルを構築した。
3. 山と海の連携、生態系を考慮した地域づくりを行った。

● 地域づくりの3原則(景観形成の3原則)

- (1) 地域固有の景観・・・無くてはならないもの、アイデンティティ(日置平野・千畳敷)
- (2) 中間領域の共有・・・公と私を繋ぐもの、シンボル(鷲の石像・古市ロータリー)
- (3) 自然との共生・・・多様性、生態系、循環型(農林水産業・建設業)

● 地域づくりのバランス感覚

7、5、3・・・固有なものは3割にとどめ、
公と私、都市と地方の割合は5割(五分五分)で、
自然(森林など)のエリアは7割をキープ

● 地域づくりを考えるスケール(自然のものさし)

10ⁿ・・・小さいものはより多く、大きいものはより少なく(河川流域、混合林・人工林)
30度・・・自然との接し方の限界(自然のり面)

君が代(きみがよ) 日本の国歌

「君が代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで」

君が代は、千年も八千年も、小さい石が大きな岩になって、それにさらに苔が生えるほどまで、長く長くずっと続きますように。

10世紀初頭における最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』の「読人知らず」の和歌を初出としている^{[1][2]}。当初は「祝福を受ける人の寿命」^[3]を歌ったものだが、転じて「天皇の治世」を奉祝する歌^{[2][3]}となった。1869年(明治2年)に薩摩琵琶の『蓬莱山』にある「君が代」を歌詞として選んだ歌が原型となっている。その後1880年(明治13年)に宮内省雅楽課が旋律を改めて付け直し、それをドイツ人の音楽教師フ란ツ・エッケルトが西洋和声により編曲したものが、1893年(明治26年)の文部省文部大臣井上毅の告示以降^[注釈 1]、儀式に使用され、1930年には国歌とされ^[注釈 2]、定着した^[1]。1999年(平成11年)に「国旗及び国歌に関する法律」で正式に日本の国歌として法制化された^[4]。世界で最も短い国歌である^{[5][6]}。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

日本の原風景を、古代から現代まで持ち続けてきた長門市日置、この地で暮らしている日置中学校の皆さんが、これからもこの素晴らしい歴史と風土に恵まれた故郷に、日置族の灯を照らし続けて頂きたいと願いながら、本日の私の話を終わります。

ご清聴を感謝いたします。

日置族ファン倶楽部代表 岩田真次